



# 昭和新聞ニュース 第2号

※長曽根銀座河原線は、「昭和新聞」の都市計画道路としての呼び名です。

## 昭和新聞の現状を調査しました！！

平成16年10月27日(水)に第2回『長曽根銀座河原線整備検討協議会』が開催されました。

協議会に先立ち行った第2回ワークショップでは、実際に昭和新聞を徒歩で調査し、「保全したいところ」「改善したいところ」について整理しました。

今回の協議会では、これらの現地調査結果をもとに昭和新聞の現状と今後の道路整備で重要となる視点などについて意見が交わされました。



### 第1回ワークショップ “ワークショップの位置づけと進め方について理解しよう！”のご報告

開催日時 平成16年9月25日(土) 10:00~13:30

(於 彦根市勤労福祉会館大会議室)

#### 主な内容

#### 長曽根銀座河原線整備の流れとワークショップの位置づけの説明



これまでの経緯と、これからの事業化に向けての考え方、ワークショップの位置づけなどが説明されました。

#### ねらい、進め方、心がまえなどの説明



ワークショップの「ねらい」「進め方」「スケジュール」「心がまえ」などが説明されました。

#### 道とのかかわりを見つめてみよう！



「この道をどんな道にしたいのか」「大切にしたい視点」などについて、カードに記入しグループ内で発表されました。

#### 道を見つめる視点を整理しよう！



全員が発表した「大切にしたい視点」を整理して、第2回ワークショップの現地調査の視点にすることにしました。

みんなが考えた  
「大切にしたい視点」  
を整理すると・・・



安全、歩きやすさ  
歴史・街並み  
車の流れ  
水路・排水  
美観・緑

になりました！

### 第2回ワークショップ “道路の状況を確認しよう！”のご報告

開催日時 平成16年10月17日(日) 13:00~16:30

(於 宗安寺)

#### 主な内容

#### 見たい視点毎にグループに分かれよう！



前回のワークショップで考えた「大切にしたい視点」の内、意見の多かった「安全、歩きやすさ」を必須項目として、現地調査で重点的に見たい視点を「歴史・街並み」「車の流れ」「水路・排水」「美観・緑」の内から選んでグループに分けられました。

#### 現地調査をしよう！



必須項目の「安全、歩きやすさ」と各自が選んだもう1つの視点について、実際に昭和新聞を歩きながら、「保全したいところ」「改善したいところ」を調査し、地図やシートに記録しました。

例



#### 調査結果をまとめよう！



グループで話し合いながら、「保全したいところ」「改善したいところ」をポストイットに書き出し、大きな地図に貼りこみ、グループごとに発表されました。

詳しい結果は裏面へ！！





# 「保全したいところ」、「改善したいところ」



安全 歩きやすさ	保全	<b>【道路構造】</b> 現況程度の道路幅員(車道幅員) (小学生(交通弱者)が道路を横断する際に、道路幅員が広がると危険) 城西小学校前の歩道は広いので歩きやすい(狭いとの意見もあった)	<b>【施設(付帯及び占用等)】</b> 城西小学校前の柵(ガードレールがあると安心して歩ける)
	改善	<b>【道路構造】</b> 歩道が連続していない、片側にしか歩道がない 歩道は両側にある方がよい 歩道は幅員が狭く、段差がある ゆったりと車いすでも通れる歩道に改善 歩行者と自転車がすれ違う時、自転車が車道を走らないといけない 歩道に段差、傾斜や起伏がある 車道と歩道の境界がわかりにくい(舗装の盛り上がりのみ、ガードレールや柵がない、縁石がない) 歩道の路面が凸凹している(アスファルト・コンクリートの破損など) ポケットパークと歩道のつながりがない(歩道が狭い) ポケットパークが適切に管理されていない 地元住民が協力しながらポケットパークや水路などを管理していければよい 水路の上に車道があって危ない(ひび割れている) 16mの道路幅員は必要か?	16mの道路幅員に固執しない十分な歩道や車道幅員を確保してほしい(堀跡との最近整備も追加で見ると良い) 周辺生活者の観点で議論してほしい  <b>【施設(付帯及び占用等)】</b> 路上の電柱の撤去 沿道駐車場から歩道上へ車がはみ出している、出入が危険 車道が狭い(城西小学校前、栄町一丁目付近) 歩道の縁石に反射板を入れてほしい 照明施設が少ない 歩道にグレーチングが多い(雨の日に滑りやすい) グレーチングは雪で滑るので、維持管理上必要最低限の設置にしてほしい 側溝に蓋がない 車道横断が危険なため、城町交差点に横断歩道橋を整備してほしい
歴史 街並み	保全	沿道にある旧家や、堀跡等の歴史的建造物(蔵のある家、漬物屋さん周辺、醤油屋さんなど) 旧家を残すためにはルートの検討を要すると思われる 円常寺前の地藏堂	彦根城が見える道(城西小学校グラウンド横の道) 歴史的な由来が地名を見ればわかるように残してほしい(復活) 水が湧き出た跡や井泉(池州 西村邸前) 堀と緑の融合
	改善	ポケットパークと円常寺の緑を一体的に整備 奥行きが広いポケットパークに改善	江國寺の門を利用して景観整備 江國寺の門前の駐車場と一体的な景観整備 城下町らしい歴史文化に配慮した歩道と車道間の縁石や柵の整備
車の流れ	保全	現在の車の交通量程度であれば、スムーズに走れる	
	改善	歩道がないところでは、歩行者が車道を通行するため車がすれ違えない 本町二丁目交差点では右折車が多いが車道が狭く、右折レーンがないので直進車が進めず渋滞する。右折レーン等の整備が必要	脇道からの車の出入が危険(栄町一丁目、池州町) 栄町バス停付近の交差点は大型車は直進しかできない(バス以外)
水路 排水	保全	ポケットパーク、バス停が一体となった水路 オープンな水路	オープンな水路を保全するためには、広い用地が必要
	改善	メイン排水路の拡張 道の両側に排水路が必要(南側に側溝がない所がある) 水路が浅い 城町の方から水が流れてくる 水路がカーブしている所で水が溢れ出す(城町交差点付近、長曾根付近) 長曾根付近で水路を直線で琵琶湖に通して、途中で詰まらないようにする 水路を琵琶湖に通した場合、水位が高く水が流れない恐れがある 水路が流れないし、詰まっている(長曾根付近)	2本排水路が考えられる(日常用と大雨時用) 今の川に水が流れ込まず、道路の南側に排水が溜まっているので、川に流れるように排水を見直してほしい 側溝が分断されている(栄町一丁目、栄町二丁目側) 雨が降ると排水路があふれる(池州町～栄町一丁目沿道) 道路が宅地より高いところが多い(路面を下げる) コンクリート水路を魚が住める自然豊かな美しい水路に戻す コンクリート護岸に石を張るなどの整備をしてほしい 水が溜まると蚊が発生する
美観 緑	保全	ポケットパーク 蔵のある家(長曾根付近、栄町一丁目付近)	
	改善	美観を損ねる看板の撤去 景観に配慮した整備にしてほしい 道路の色をきれいにする 景観を壊さないゴミ置場が必要 電線地中化、ライフラインの共同溝化 道路整備だけでなく沿線の町づくりも考えてほしい 建築協定などをすると、景観整備に効果的 街路樹の種類の設定	全体的に緑が少ない 芹川沿いのような散策のできる緑豊かなうらおいのある道にしてほしい ポケットパーク付近の水路をきれいな小川に ポケットパーク付近では水路と歩道が離れている 歩道幅を広く確保すると並木を増やし緑を増やすことができる 城西小学校にも協力してほしい(現在以上グラウンドが狭くなるのは無理という意見もあった)

次回、協議会の開催予定は・・・

11月24日(水)19:00～ 城西小学校 2階 ふれあいホール

発行：滋賀県 湖東地域振興局 建設管理部 道路計画課

〒522-0071 滋賀県彦根市元町4番1号

TEL：0749-23-3511 FAX：0749-23-3531

ホームページアドレス <http://www.pref.shiga.jp/h/h-doboku/2douro.html>

Email：ha3405@pref.shiga.jp

～人・自然・地域との絆で

キラリと輝く湖東をめざして～

(湖東地域振興局のスローガン)